



# 九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会  
発行責任者 佐川愛子  
✉ nara9jyonokai@gmail.com  
☎ 090-9885-9756  
<http://blog.goo.ne.jp/9naranet>  
<http://www.nara9jyonet.com>  
38号 2020年1月20日発行



トランプ大統領が一方向的にイラン合意から離脱、ソレイマニ司令官を殺害。第3次世界大戦の不安と危機が世界中を震撼させました。有志連合の要請を受けて自衛隊が中東に派遣。憲法違反の海外派遣を強行する安倍首相を許せません。改憲になれば大手を振って派兵、若者の犠牲者が出ます。総力をあげて安倍改憲の国会発議を阻止しましょう。

九条の会奈良県ネットワーク交流会への2019年度の協力を金をお願いします。  
**送付先:** ゆうちょ銀行  
記号 14530 番号 27006271  
九条の会奈良県ネットワーク

## いま新たに改憲発議に反対する全国緊急署名を開始します 戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会 安倍9条改憲NO！全国市民アクション

安倍晋三首相らが企てる9条改憲に反対しているすべてのみなさん

先の参院選で改憲派が発議可能な3分の2の議席を失ったにもかかわらず、安倍首相は臨時国会終了後の記者会見で「必ずや私の手で（改憲を）成し遂げていきたい」と語り、自らの自民党総裁任期の2021年9月までに実現する決意を語りました。

この改憲スケジュールからみて、安倍改憲をめぐるたたかいはいよいよ最大の山場にさしかかったというべきでしょう。2020年の通常国会と臨時国会で「改憲発議」を許すかどうか、さらに2021年通常国会会期中に安倍改憲国民投票を許すかどうかの正念場になりました。この安倍首相の企ては絶対に阻止しなければなりません。

安倍首相はこの記者会見で「時がきたと考えればちゅうちょなく解散総選挙を断行する」と述べました。この期間に衆議院議員総選挙に踏み切る可能性が濃厚です。改憲派は時期と条件を選んで、改憲を訴える総選挙を断行するでしょう。そこで圧勝することによって、安倍改憲が世論に支持されたと強弁し、改憲に反対している野党を分断し、両院で改憲に賛成する議員を3分の2以上確保し、改憲発議に踏み切ろうとするにちがひありません。

### 事態は緊急です。

いまこそ、安倍改憲に反対するすべての人々は共同し、全国の草の根から運動をおこし、世論を盛り上げ、総選挙に際しては安倍改憲に反対する野党と連携して改憲派を徹底的に孤立させる必要があります。**9条をはじめとする自民党の4項目改憲案は絶対に阻止しなくてはなりません。それは日本を米国との同盟の下で「海外で戦争をする国」にするための改憲です。**2020年の防衛省予算案は5兆3千億円を超え、過去最大となりました。

**自民党9条改憲案は、「必要な自衛の措置」として「戦争する国」にむけ集団的自衛権の全面行使をも可能とするものです。**すでに「防衛大綱」などによって9条の空洞化が進んでいますが、この動きを止めなくてはなりません。緊急事態条項導入案は、軍事的な緊急事態に内閣の権限を拡大し、人権の大幅な制約を可能にする危険性があります。大地震などの自然災害の対応についてはすでに十分な法律が整備されており、憲法に置く必要性はありません。さらに、合区に関する問題の解決は公職選挙法等の改正で可能であり、自民党の改憲案は投票価値の平等を侵害するなどの危険性があります。教育の充実に関する改憲案は、教育が「国の未来を切り拓く上で極めて重要な役割を担う」として教育への国家介入を正当化する危険があります。教育の充実は国会と内閣がその気になれば、法律や予算措置で可能です。

自民党の4項目改憲案は、いずれも改憲の必要性・合理性を欠くうえに、日本国憲法の基本原理である平和主義、主権在民、基本的人権の尊重を破壊するものです。

2017年秋以来、安倍首相による9条改憲を阻止するため、広範で多様な人々を結集して「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が結成され、3000万人を目標にした9条改憲に反対する一大署名運動（安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名）が展開されました。この運動は約2年間にわたる全国の津々浦々での大きな取り組みとなりました。構成している労働団体は組合員、家族、地域署名を、市民団体や地域の諸団体は、それぞれの形態・やり方で、あるいは自治体・地域ごとに獲得目標を決め、戸別訪問にも取り組みました。すでに住民の8割の署名を集めた地域もあります。さらに多くの団体により、街頭・駅頭で宣伝活動と合わせた定期的な署名運動が取り組まれました。

全国に署名運動が広がり、対話が進むことによって、「安倍改憲反対」「9条を守れ」の声が市民に確実に届き、組織や地域に広がり、世論を大きく変えてきました。この署名運動に、多くの仲間の皆さんが参加し、すでに1000万筆に迫る署名を集めたこと、これが**全国の草の根に強固な改憲反対の世論**をつくり出し、**立憲野党**を励まし、国会の憲法審査会での自民党改憲案などの審議を実質的に阻止し、2年余りにわたって**安倍9条改憲の発議を阻止し続けてきました**。そして先の参議院選挙で、**改憲勢力3分の2割れを勝ち取った原動力**であったことは明確であり、**3000万署名運動の成果**を高く評価する必要があります。いま、安倍改憲のスケジュールにとって決定的な山場を迎え迎えました。私たちは安倍首相らによる改憲暴走の動きに痛打を浴びせて、安倍改憲と「戦争する国」の企てを阻止しなくてはなりません。この重大な時期に際し、全国市民アクション実行委員会は、従来取り組んできた署名にかえて、あらためて「**安倍9条改憲反対！改憲発議に反対する全国緊急署名**」運動への取り組みを呼びかけます。「安倍首相の下での改憲には反対だ」という点は全国の市民の多数の声であり、国会内の立憲野党すべての一致点です。この声をさらに大きな力に変え、世論を強め、安倍首相らの改憲を食い止めたいと思います。この2年にわたった粘り強い草の根の市民の努力を再始動させ、もういちど行動の力に変えましょう。態勢を整え、この新しい署名を軸に**全国の津々浦々で、市民の一大対話運動**を繰り広げましょう。そのための共同こそが、**この社会の未来を平和で、希望ある社会**に変える力となるに違いありません。**私たち市民はこの国の主権者です**。この国の未来は**私たち自身の手**で切り開かなくてはなりません。そのためにこそ、**私たち主権者の名**において全力をあげて**改憲発議を阻止する**ために立ち上がりましょう。

2020年1月1日

九条の会奈良県ネットワークは「**富田宏治先生と語る会**」を1月18日13時半から奈良市生涯学習センターにおいて開催。37名が参加しました。

#### 1、 憲法発議をめぐる情勢として

- ① 1月20日から行われる通常国会で安倍首相は野党の追及で1月末解散、**2月総選挙**もありうる。理由（安倍首相はプライドが高く、攻められるとパニックになる。麻生や二階も早期解散をしかけている）
- ② 憲法審査会を開いて審議を無視、野党を締め出して与党のみで採決という暴挙にでる可能性もある。
- ③ マスコミは選挙報道をしないことによって投票率を下げている。

#### 2、 改憲発議を許さないために・・・どう投票率を上げるのか

- ① 衆議院選挙小選挙区において、野党共闘で**投票率が後3~4%上がると80議席が野党**に。60%まで上がると与党は過半数割れになる。「**市民が野党は共同してたたかえ**」という声を上げていくことが大事。
- ② 政治に諦め大量投票棄権している人達へ「**市民が作った共通政策**」に希望をもってもらう対話と説得。
- ③ 生活が困難で政治に関心を持ってない人たちへ「**政治をあきらめない**」働きかけ。

#### 3、 3000万署名が果たした役割

2016年参議院選挙、政治上初めて改憲勢力が3分の2を超える。参議院議員が3分の2を超えるのはむつかしい。それが超えた。「改憲の機は熟した」が、それを阻止したのが3000万署名。「諦めない、往生際の悪い市民の力」が3000万人署名に集約され、3年間踏みとどまって改憲発議の動きが止まった。

#### 4、 今、なぜ「改憲発議に反対する全国緊急署名」なのか。

- ① 通常国会で安倍首相は施政方針演説で「憲法審査会」に触れ、憲法審査会での暴挙や野党への切り崩しなどの策動を許さない世論が求められている。市民に出来る事は「許さない世論づくり」
- ② 署名数も大事だが、**説得して廻る事が大事**。署名は説得するための武器。  
「地べた戦、一人ひとり説得」じっくり、緊急に



映画「明日へ」  
日時：2020年1月26日 10時  
14時  
場所：平群町中央公民館大ホール  
主催：九条の会・へぐり  
参加協力券：700円

講演会「今こそ平和憲法を」  
日時：2020年2月23日 14時  
場所：生駒市コミュニティセンター  
文化ホール  
主催：憲法九条の会・生駒  
参加費：500円